

xplova

G3

GPSサイクルコンピューター
ユーザーマニュアル



© Copyright 2011, Xplova Incorporated. This publication, including all photographs, illustrations and software, is protected under international copyright laws, with all rights reserved. Neither this User's Manual, nor any of the material contained herein, may be reproduced without written consent of the author. Download the latest version of this document at www.xplova.com.

Visit: <http://tour.xplova.com/>
Web service for bicycle route planning

製造メーカー：

愛普瑞股份有限公司

WWW.XPLOVA.COM

台湾台北市內湖區新湖二路128號5樓之1

サポートサイト：

<http://www.xplova.com/tw/support/contact-support/>

Email: sales@xplova.com

Blank Page

内容

はじめに.....	9
Xplova G3について.....	10
標準付属品.....	12
Xplova G3特長.....	13
走行データの記録/閲覧.....	13
Smart-Sign™ スマートサイントラックナビゲーション.....	14
リアルタイム分析機能.....	14
トレーニングモード.....	14
オプションアクセサリ.....	15
Xplova G3の充電.....	16
Xplova G3の起動.....	18
ボタンコントロール.....	19
輝度調整と音量のオン/オフ切替え.....	19
モード切替え.....	21
バイクの選択:.....	22
同一モード内における他ページの呼び出し:.....	23
データの記録（レコーディング）.....	24
現在のセッションにラップを追加する.....	25

ラップボタンで現在のセッションレコードをクリア.....	26
画面のロック.....	27
電源ボタンその他の機能.....	28
電源オフ選択画面表示:.....	29
メニュー.....	30
プロフィールの作成.....	31
GPS信号の捕捉.....	31
センサーの接続.....	32
Xplova G3のバイクへのマウント.....	32
GPSサイクルコンピューターの使用.....	37
サイクルコンピューター表示部.....	37
サイクルコンピューターのクイックメニュー.....	39
サイクルコンピューターデータ.....	40
地図モード.....	43
地図表示画面.....	43
地図クイックメニュー.....	44
トラックナビゲーションとスマートサインガイダンス.....	46
チャートモード.....	47
チャートモード画面.....	47

チャートモードクイックメニュー.....	48
高度チャート.....	49
トレーニングモード.....	50
トレーニングモード画面.....	50
トレーニングモードクイックメニュー.....	51
ページの編集.....	52
ページの編集.....	52
新しいページの追加.....	53
ページの削除.....	53
設定変更.....	54
マイデータ.....	54
モード選択.....	57
アラート（警告）設定.....	59
記録方式の選択（ラップと自動停止の設定）.....	60
地図選択.....	62
地図表示の変更.....	63
トレーニング設定.....	63
ユーザーとバイク情報.....	64
ユーザープロフィール.....	64

心拍ゾーンの設定	65
バイクプロフィール (バイク情報)	67
一般設定	70
衛星情報	71
ディスプレイ	74
サウンド (音声)	75
時間設定 :	76
単位設定 :	78
言語	79
高度校正	80
コンパス校正	81
工場出荷時設定	84
端末情報	85
アクセサリーの使用	86
心拍計 (オプション)	86
心拍計の装着 :	88
心拍計電池の交換 :	88
コンボケイデンスセンサー(オプション)	89
コンボケイデンスセンサーの取付け	92

コンボケイデンスセンサーでのトレーニング	96
コンボケイデンス電池の交換	96
オプションバッテリーチャージャー	97
PCソフトウェアの使用.....	98
X-Tracks™	98
バックアップ/アクティビティデータの閲覧.....	98
GPX & TRKファイルのインポート/エクスポート.....	99
Smart-Route™(スマートルート)ルート計画	100
地図のダウンロード	101
G3ソフトウェアのアップデート	102
仕様.....	109
ホイールサイズテーブル	113
適合関係	117

はじめに

Xplova G3 GPSサイクルコンピューターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本章ではG3の主な特長とユーザーインターフェースの基本機能、起動方法について説明いたします。次章以降では本GPSサイクルコンピューターのすべての特長と機能について説明いたします。

Xplova G3について

本項では Xplova G3の主な特長について説明します。



図 1. Xplova G3 本体表面

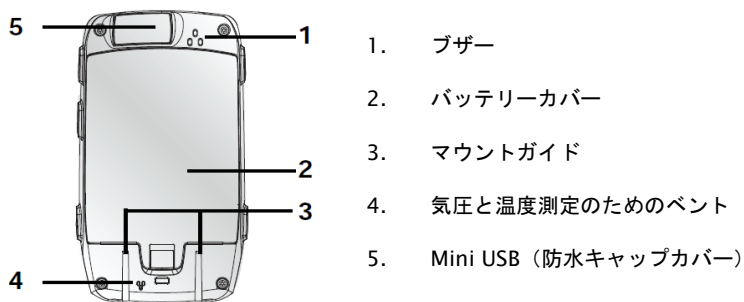
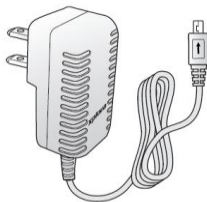


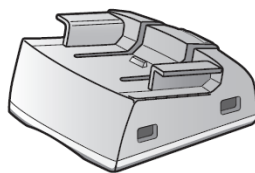
図2. Xplova G3 本体背面

標準付属品

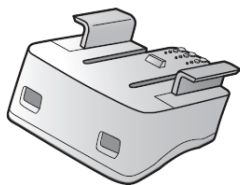
Xplova G3には下図のアクセサリが同梱されています。それぞれのアクセサリが間違いなく含まれているかどうか確認してください。万一同梱されていないアクセサリがある場合には、お手数ですが速やかにご購入販売店にお問合せください。



ACアダプター



ステムバイクマウント



ハンドルバーバイクマウント



ロックタイ

図 3. Xplova G3標準付属品

Xplova G3特長

Xplova G3は本格的なバイクライフをおくる、世界中のライダーのためのハイエンドGPSサイクルコンピューターです。わかりやすいメニュー構造で頑丈なデザインは、アウトドアでの様々なシチュエーションにおいて最高のパフォーマンスを発揮します。

- ・ 2.2インチ、太陽光でも見やすいディスプレイ
- ・ 交換可能なリチウムイオンバッテリー、満充電で約10時間作動
- ・ 高精度GPSチップ採用
- ・ IPX7防水で耐衝撃性の高いタフデザイン
- ・ 省電力ワイヤレスANT+でアクセサリをサポート
- ・ 高度気圧計, 3軸デジタルコンパス、温度計

走行データの記録/閲覧

Xplova G3ワイヤレスGPSサイクルコンピューターを利用して距離、速度、高度、心拍、ケイデンス、カロリー消費などのデータをリアルタイムに受信し、フィジカルパフォーマンスの向上に役立ててください。

- ・ リアルタイム走行データの記録と閲覧
- ・ 走行履歴のグラフィックチャートで端末内での閲覧
- ・ ボディコンディションをモニターして速度、心拍、ケイデンス数値からアラート(警告)
- ・ 異なった走行ルートでもラップ機能を使用できる
- ・ 時間、距離、カロリー目標でのトレーニングプログラム作成

Smart-Sign™ スマートサイントラックナビゲーション

Xplova Smart-Sign™(スマートサイン)とはユーザーが地図のルート上に割り当てることのできる、属性情報を含んだマーカー(アイコン)です。これにはウエイポイント、POI(お気に入りポイント)、傾斜情報、山頂、ターンバイターン(進行方向指示アイコン)を含み、Xplova Smart-Route™(スマートルート)エンジンで作成されます。

- ・ ターンバイターンアイコンでスマートサインが近づくと距離や属性情報を表示(Ex. 次の橋までの距離、「路肩が狭い」などの情報)
- ・ OSM(オープンストリートマップ)はオートズーム、等高線対応
- ・ 作成コースに基づき走行中、高度チャート上での現在走行地点を表示
- ・ トラックバック機能でコースの起点に逆ナビゲーション

リアルタイム分析機能

Xplova G3 は心拍計、速度/ケイデンスコンポセンサー、パワーメーター(市販別メーカー製)などのワイヤレスANT+でリアルタイムに距離、心拍、ケイデンス、カロリーをモニターし分析します。

トレーニングモード

Xplova G3は時間、距離、消費カロリー目標設定による簡単なトレーニングモードに対応しています。

オプションアクセサリー

Xplova G3はバイクとアウトドアで使用するために最適な2つのオプションアクセサリーに対応しています。心拍計（HRM）は心拍を計測することにより、ワークアウト時の心臓血管のパフォーマンスをモニターします。コンポケイデンスセンサーは後輪のステイに装着し走行時の正確なクランク回転数を読み取ります。これらのアクセサリーはワークアウトパフォーマンスを分析するのに最適なヒントとなり、後述するようにコース上の異なるセグメントでいかにハードにワークアウトをこなしたかを教えてくれます。

これらのアクセサリーをすでに購入済みのお客様は、**86**ページの「アクセサリーの使用」を参照しペアリングと装着法について確認してください。まだアクセサリーをご購入でないお客様は、お近くのXplova販売店にお問合せください。

Xplova G3の充電

Xplova G3ご使用の前に以下のインストラクションの通り、正しく充電を行って下さい。
Xplova G3を初めてご使用の前には満充電にするためには最低でも5時間以上充電してください。

Xplova G3の充電:

1. バッテリーカバーをはずす。
2. バッテリーを挿入する。
3. バッテリーカバーを下図のように戻す。

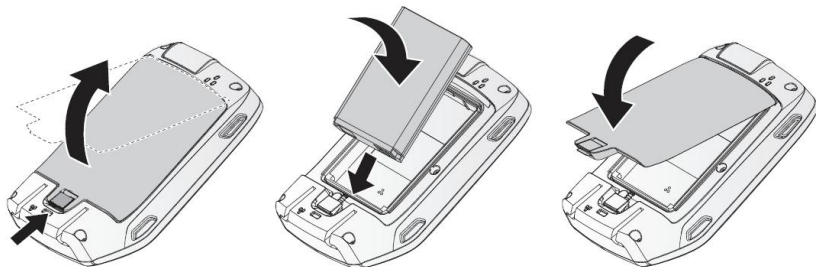


図 4. バッテリーの交換

注意：ノートPCでの充電はUSBで5Vの電圧が必要です。オプションのバッテリーチャージャーについては97ページを参照してください。

4. パッケージに同梱のチャージャーのプラグをコンセントに差し込む。
 5. Xplova G3本体裏面の防水シリコンカバーを開ける。
 6. 下図のようにUSBアダプターを挿入する。
- *充電状況はLCDに表示されます。

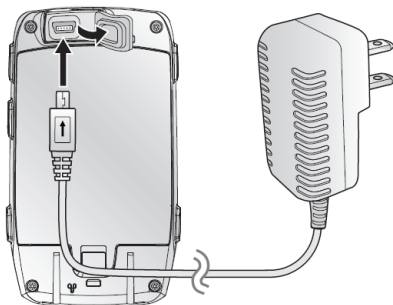


図5. チャージャーのXplova G3への接続

Xplova G3の起動

充電を完了したらXplova G3はすぐにご使用いただけます。本体左上部の電源ボタンを押しXplova G3を起動してください。起動時に地図データをシステムに読み込むために、LCDにはブラッシュスクリーンが表示されます。それが終わると端末は設定を完了しサイクルコンピューター画面が表示されます。

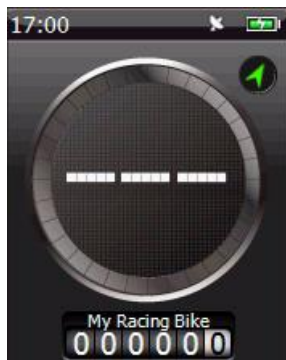


図6. サイクルコンピューター画面

注意: 画面は上図と異なった表示の場合があります。

ボタンコントロール

端末横のボタンはXplova G3の電源投入だけではなく、LCDの輝度、音量調整、モード切替え、セッションの記録、一般設定も行います。

*ここで「セッション」とはデータログ開始から終了までの一区切りをさします。

輝度調整と音量のオン/オフ切替え

輝度調整と音量オンオフ切替えは電源ボタンを短押ししてください。輝度、音量調整ボタンが図7のように表示されます。輝度、音量をコントロールスティックで調整、切替えることができます。



図7. 輝度と音量コントロール

輝度調整画面が表示されている時に、電源ボタンを再度押すことにより輝度の調整を行うことができます。電源ボタンを押すことにより輝度はオフ、中間、最高と切替わります。



モード切替え

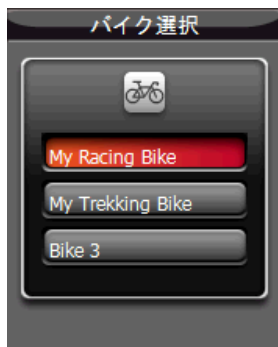
Xplova G3サイクルコンピューターの左下Modeボタンを短押することにより、地図、チャート、トレーニングモードと表示を切り替えることができます。表示画面は以下の通り



図8. 各モードの表示

バイクの選択:

モードボタン長押しによりバイク選択画面を素早く呼び出すことができます。コントロールスティックでバイクを選択しコントロールスティックを下に押し込むことによりバイクの変更を確定します。



同一モード内における他ページの呼び出し:

サイクルコンピューターモード、チャートモードでは、コントロールスティックでページを上下にスクロールし、他のページ（情報）を活用してください。ダッシュメーターの下にはいくつかのページがあり、お好みの情報を表示させてください。



図9. サイクルコンピューターページの表示

データの記録（レコーディング）

Record（レコード）ボタンを押すことにより、記録スタート、中断、再度記録開始、終了を行います。



図10. データ記録表示画面

レコードボタンでセッションデータの記録

1. Recordボタンを押すとスプラッシュスクリーンが表示され、セッションデータの記録を開始します。

*ここで「セッションデータ」とはデータ記録から終了までのひとつの区切り、1ファイルをさします。

2. Recordボタン短押しでデータ記録の中断/継続開始を行います。
3. Recordボタンを長押しすると、カウントダウンが始まり2秒後にデータ記録を終了します。

* 設定メニューにおいて停止時、低速時にデータを記録しない設定も可能です。

現在のセッションにラップを追加する

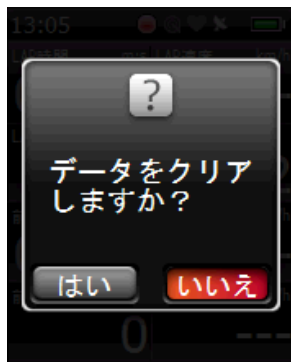
セッションデータ記録中にLAPボタンを押すと、ボタンを押すまでのデータをラップデータとして記録します。(Ex. 記録開始-データ1-LAPボタン-データ2-LAPボタン---)

*ボタンによるラップの他に、設定メニューで時間による自動ラップも設定可能です。



ラップボタンで現在のセッションレコードをクリア

セッションデータ記録中にLAPボタンを長押しすると、セッションレコードクリアの画面が表示され、現在のセッションレコードをクリアすることができます。“はい”を選択すると現在記録中のデータをクリアし、“いいえ”を選択するとデータを継続記録します（クリアしない）。



画面のロック

画面をロックすることにより、誤操作や不要なコマンドの入力を防止します。

画面のロック方法：

1. 電源ボタンを3秒押し続け、スタンバイ、電源オフ、ロック選択画面を呼び出します。
コントロールスティックでロック（Lock）を選択し実行します。
2. ロック解除には右横上部の+ボタンを3秒間押します。



電源ボタンその他の機能

電源ボタンはXplova G3の電源オフ、スタンバイモードへの切替えにも使用します。

- ・ 電源オフ: 電源を完全にオフにします。再起動の際にはXplova G3は地図の読み込みとGPS受信など設定を最初から行うこととなります。
- ・ スタンバイ(待機モード):スクリーン、プロセッサとアンテナの電源をオフにしますがメモリーへの電源供給は維持することにより、電源をオンにした時に速やかに前回の表示画面を呼び出します。緑のLEDが断続的に点灯しスタンバイモードであることを知らせます。スタンバイモードでも電力消費することに注意してください。Xplova G3はスタンバイモードを24時間継続すると電源オフとなります。

電源オフ選択画面表示:

1. 電源ボタンを3秒押し続けると以下の画面が表示されます。



図 11. 電源オフ選択画面

2. コントロールスティックで希望する機能を選択します。
3. コントロールスティックを下押しで選択した機能を確定します。

メニュー

The Xplova G3はメインメニューとクイックメニューの2つをサポートします。

メインメニューの表示:

1. 本体右横のメニュー（Menu）ボタンを押します。図12の通りメインメニューが表示されます。
2. メインメニューの詳細については54ページの“設定変更”をご覧ください。



図12. メインメニュー

クイックメニューの表示:

1. コントロールスティックを下に押し込み、クイックメニューを表示してください。
2. クイックメニュー詳細については37ページの“GPSサイクルコンピューターの使用”を参照してください。

注意: Modeボタンを押すとクイックメニューから元の表示画面に戻ります。

プロフィールの作成

Xplova G3には2つのプロフィールタイプがあります: ユーザープロフィール (ユーザー情報) とバイクプロフィール (バイク情報) を設定することにより、正確に走行距離を記録しトラッキングを開始することができます。詳しくは64ページの“ユーザーとバイク”を参照してください。

GPS信号の捕捉

Xplova G3はX-Navi テクノロジーを採用し、あなたのサイクリングをより高いステージに引き上げます。Xplova G3はGPS信号を自動で捕捉し、現在地情報を表示します。屋外でXplova G3の電源をオンにしてください。遮蔽物が無く完全に天空が開けた場所であるほどXplova G3はGPS信号を補足しやすくなります。ご購入後初めての受信、あるいは前回起動した場所から遠く離れた場所でGPSを補足する場合には、5-15分衛星補足に時間がかかる場合があります。

注意: GPS信号は高周波数帯域にあるため、トンネルや橋、ビル、森林内の葉などにより容易に遮蔽されます。

GPS信号受信は以下のような条件時に受信に時間がかかります:

- 購入後初めて起動する場合
- 前回受信場所より数百km離れた場所でGPS信号を補足する場合
- 端末を数日間使用しなかった場合

センサーの接続

オプションのコンボセンサー（速度/ケイデンス）や心拍計を使用する場合には、それぞれのセンサーをXplova G3とペアリング(同期)する必要があります。詳しくは86ページの“アクセサリーの使用”を参照してください。

Xplova G3のバイクへのマウント

次にXplova G3端末のバイクへのマウントについて説明します。Xplova G3には標準でステム用マウントとハンドル用マウントを同梱しています。

Xplova G3のマウント:

1. まずGPSを取り付けたい位置を確定してください。Xplova G3をマウントクリップに取付け、バイクのハンドルバー、ステム、フレームなどさまざまな位置に仮置きしてみて確認するのが良いでしょう。

2. 位置が確定したら。図のようにラバースリーブ（ゴムあて）を巻き付けます。

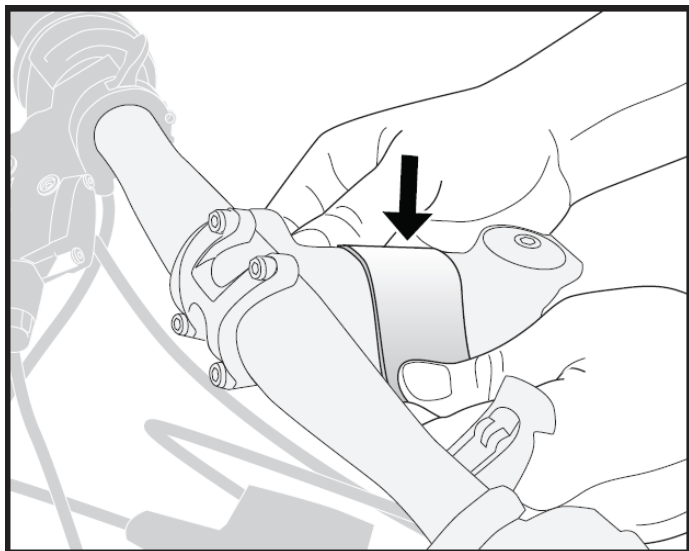


図 13. ラバースリーブを巻き付ける

3. 2本のロックタイ（結束バンド）を図のようにマウントクリップに通します。

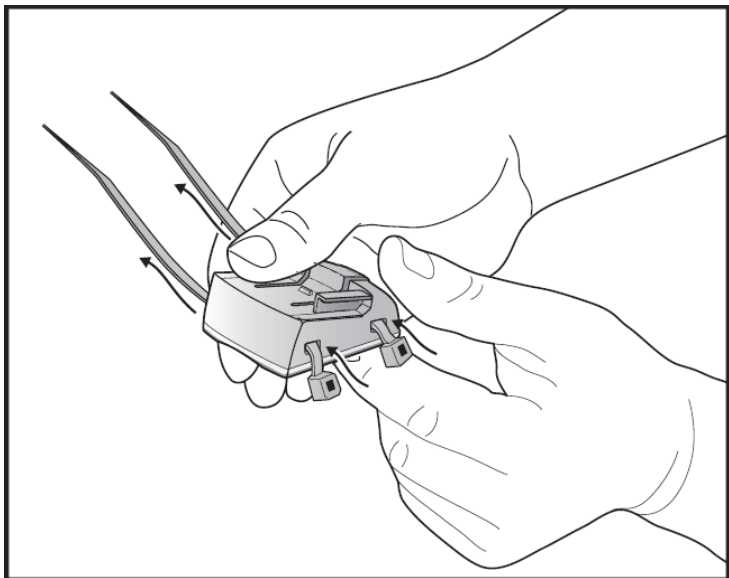


図 14. ロックタイを通す

4. マウントクリップラバーベース（底）の半円状の底部が、取付部のバイクパーツ（ハンドルバーなど）の形状に沿うように取付けます。

5. 下図のようにロックタイをバイクの取付部（ここではステム）の周りを一周させ、マウントクリップを結合します。いきなりきつく締めないで、位置を確定してから徐々に締め上げてください。取付方向を間違えないように。

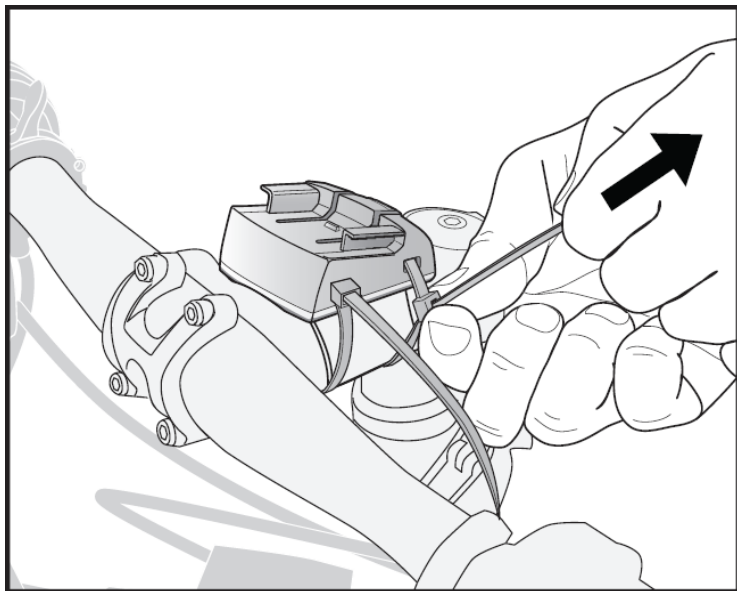


図15. マウントクリップの取付け

6. ロックタイをきつく締めマウントクリップが正しく取り付けられているか確認してください。

7. 図のようにXplova G3をスライドさせ、マウントクリップに挿入し取付けます。カチッと音がするまで差し込んで下さい。

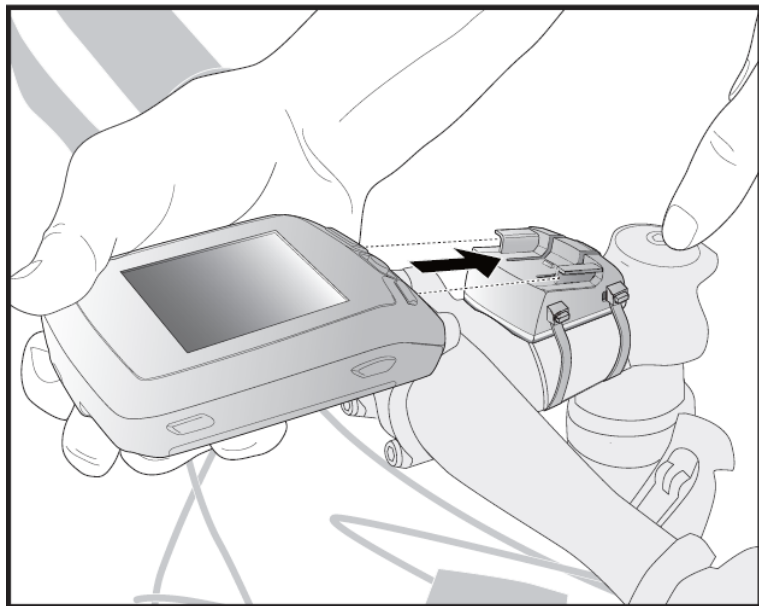


図16. Xplova G3のマウントクリップへの取付け

注意: ハンドルバーへの取付けも、ステムと同じ要領で行います。角度や人体によるGPS信号の遮蔽、ケーブル類との位置関係も考慮し最適な場所に取り付けてください。

GPSサイクルコンピューター の使用

サイクルコンピューターモード

サイクルコンピューター表示部

サイクルコンピューターはさまざまな情報を表示します。以下の図で何を表示しているのか確認してください。

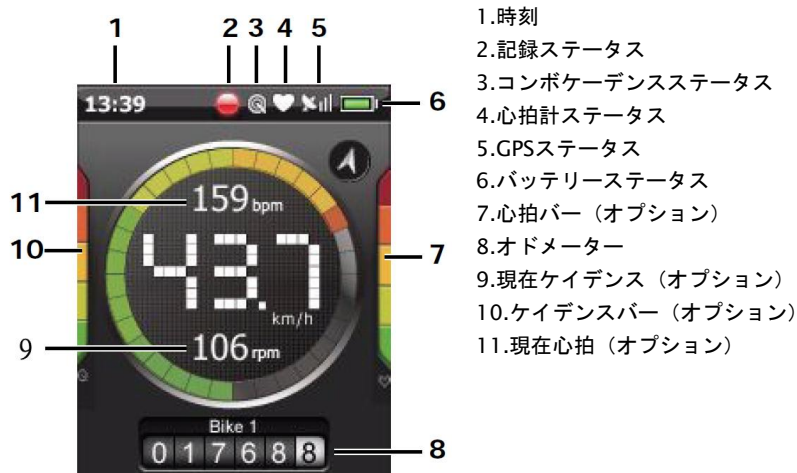


図17. サイクルコンピューターメーター表示部 (ダッシュメーター)

表1.サイクルコンピューターコントロールとディスプレイ 図17に表示されているコントロールとディスプレイ

表1.サイクルコンピューターコントロールとディスプレイ

項目	内容
記録（レコード）	セッションロギングの開始、停止を表示
コンボケイデンス	アクセサリへの接続を表示
バッテリー	バッテリー充電状態の表示
GPS	GPS受信状況の表示
心拍計	アクセサリへの接続を表示
心拍バー	心拍の表示
オドメータ	現在のバイクでの正確な総走行距離の表示
ケイデンスバー	ケイデンスの表示
時刻	現在の時刻を表示

サイクルコンピューターのクイックメニュー

コントロールスティックを下に押し込むとクイックメニューを呼び出すことができます。



図18. サイクルコンピューターのクイックメニュー

バイク選択の前に必ずバイクプロフィールの設定を行ってください。詳細は67ページのバイクプロフィールを参照のこと。

バイクの選択:

1. スクロールして「バイク選択」を選ぶ
2. 選択したいバイクにスクロール
3. コントロールスティックを下押しして選択

サイクルコンピューターの設定には58ページのサイクルコンピューター設定をご覧ください。

*本メニューはバイクの選択変更のみで、編集は行えません。

ページの編集:

ページを編集するにはダッシュメーター以外のページに移動しなければなりません。詳しくは52ページのページ編集を参照してください。

サイクルコンピューターデータ

サイクルコンピューター上で閲覧したいデータを表示するように、簡単にレイアウト編集することができます。メインページを含めて、それぞれのページはお好みの表示に変更することができます。変更可能な項目は以下の項目を含みます。:

- 高度: 現在の高度を表示
 - 最大高度: 現在セッション内での最大高度を表示。
 - 総上昇量: 現在のセッション内での合計上昇距離を表示。
 - 総下降量: 現在のセッション内での合計下降距離を表示。
- ケイデンス: 1分間当たりのクランクの回転数を表示。
 - 平均ケイデンス: 現在セッションにおける1分間の平均クランク回転数を表示。
 - 最高ケイデンス: 現在セッションにおける最高ケイデンスの表示。
 - ラップケイデンス: 現在ラップでの平均ケイデンスを表示。
- カロリー: 現在のセッションで蓄積消費されたカロリー消費を表示。
 - カロリー消費率: 現在のセッションで消費されたカロリー消費率を表示。
 - 残りトレーニングカロリー: トレーニングセッション内で消費すべきカロリーを表示。
- 距離: 現在のセッションの総距離を表示。
 - ラップ距離: 最後にラップを設定してからの総距離。
 - 前回ラップ距離: 前回ラップの距離
 - 次のコーナーまでの距離: ナビゲーション時に次のコーナーまでの距離を表示。
 - 残りトラック距離: トラックにおける残り距離を表示。
 - 残りトレーニング距離: トレーニングでの残り距離を表示。
- 心拍: 現在の心拍を表示

- 心拍(%):心拍を最大値に対する%で表示。最大心拍 = 220 - 年齢
- 平均心拍: 現在のセッションにおける平均心拍
- 最大心拍:現在のセッションにおける最大心拍を表示。
- ラップ心拍 (LAP心拍) :現在のラップにおける平均心拍を表示。
- 前回ラップ心拍(前LAP心拍): 前回ラップにおける平均心拍を表示。
- 前回ラップ最大心拍(前LAP最大心拍): 前回ラップにおける最大心拍を表示。
- 心拍ゾーン: ユーザープロファイルの設定に基づき、現在の心拍ゾーンを表示。
- ラップ (Laps) : 現在のセッション内における複数のラップを表示。
- 速度: 現在速度を表示
 - 平均速度: 現在のセッションにおける平均速度を表示。
 - 最高速度: 現在のセッションにおける最高速度を表示。
 - ラップ速度 (LAP速度) : 現在のラップにおける平均速度を表示。
 - 前回ラップ速度(前LAP速度): 前回ラップでの平均速度を表示。
 - 前回ラップ最高速度(前LAP最高速): 前回ラップ時の最高速度を表示。
- 勾配: 現在の勾配を表示
 - 最大勾配: 現在のセッション中の最大勾配を表示。
- 時刻 (Time) : 現在の時刻を表示。
 - 時刻 (Clock) : 現在の時刻を24時間または12時間フォーマットで表示。
 - ライド時間: 現在のセッションにおける走行時間を表示。
 - 停止時間: 記録を停止してから経過した時間を表示。
 - 開始時刻: セッションを開始した時刻を表示。
 - 平均ラップタイム(平均LAP時間):それぞれのラップの平均値。
 - ラップタイム (LAP時間) : 現在のラップにおいて経過した時間を表示。
 - 前回ラップタイム(前LA時間P): 前回の完了したラップでの時間。
 - 予定到着時刻:地図における目的地への予定到着時刻を表示。
 - コーナー時間:次のコーナーまで到達する残り時間を表示。
 - 残り訓練時間: セッション内における残りトレーニング時間を表示。
- 日時:現在の日時を表示
- 進行方向: 現在の進行方向を表示
- 緯度: 現在の緯度

- 経度: 現在の経度
- 日出時刻: 日出時刻を表示
- 没時刻: 日没時刻を表示
- 温度: 現在の気温を表示

地図モード

地図表示画面

地図表示画面については図19を参照してください



図19 地図表示画面

地図クイックメニュー

地図モードでコントロールスティックを下に押すと、クイックメニューを呼び出すことができます。



図20 地図クイックメニュー

トラックの読み込み:

G3端末でトラックを読み込む前に、PCでX-Tracksソフトウェアを使用して、トラックを作成しG3にトラックのアップロードを行わなければなりません。

1. コントロールスティックでスクロールしてトラックを選択
2. トラックを読み込むために、コントロールスティックを下押し

注意：ナビ中に他トラックを読み込むためには、クイックメニューを呼び出して「ナビ停止」を選択する必要があります。その後新しいトラックを呼び出してください。

スマートサインの閲覧

1. トラック読み込み後、スマートサインの閲覧、確認が可能です。
2. コントロールスティックで「スマートサイン表示」を選択。任意のスマートサインを選択、コントロールスティックを下押しすると以下を表示
 - スマートサイン名称:スマートサインの名前
 - 緯度経度: スマートサインの位置情報を表示

地図設定については**52**ページの「ページ編集」と**62**ページの「地図設定」を参照してください。

* Smart-Signs（スマートサイン）とは山頂、橋、勾配などお気に入りポイント（POI）など属性情報（急な勾配、橋が狭いなど）を持った点で、アイコンとともに作成ルート上、地図上に割り当てることができます。

トラックナビゲーションとスマートサインガイドンス



トラック（スマートルート）を読み込むと、Xplova G3上でトラックと現在位置近くのスマートサインを表示します。Xplova G3はトラックに沿ってナビゲーションを行い、ターンバイターンサイン（進行方向、距離を指示）やスマートサインまでの距離を表示します。

*「トラック」と「ルート」：本マニュアルおよびG3本体、PC用ソフトウェア、共有サイトでは「ルート」は未だ走行していない路線（計画路線）、「トラック」を走行経験済みの路線として使用していますが、第三者が走行したことがあるトラックを、自分の走行ルート、計画路線として採用する場合も多く、厳密に定義分けできない場合があります。「トラック計画作成」には全く新規のルートもあり、誰かが走行したトラックも含まれます。

チャートモード

お好みの設定でチャート画面の表示を編集することができます。最大3ページまでページを表示でき、各ページに2個までのチャートを割り当て、表示することが可能です。

チャートモード画面

図21のようにリアルタイムにデータを表示します。



図21. チャートモード画面

チャートモードクイックメニュー

コントロールスティック下押しでクイックメニュー呼び出します。詳しくは52ページの「ページ編集」を参照してください。



図22. チャートモードクイックメニュー画面

高度チャート

高度チャートでは縦軸が高度、横軸が距離を表示します。現在地が赤縦軸でリアルタイムに表示され、前後および全体の高低、高低差を容易に把握することができます。図23を参照願います。

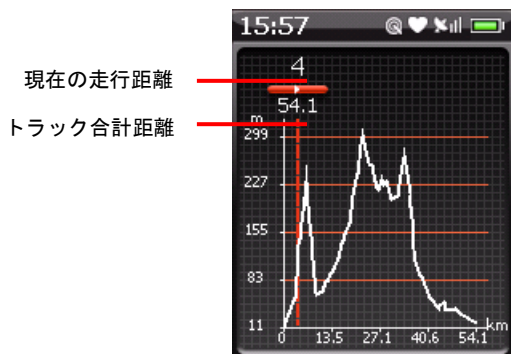


図23 高度チャート

注: 高度チャートはトラック（ルート）を作成し読み込んだ時のみ表示します。

注: トラックの読み込みについては44ページ参照のこと。

トレーニングモード

Xplova G3では目標距離、目標時間、目標カロリーを設定することにより簡単なトレーニングを行うことができます。本モードではユーザーが設定した目標数値に達するとデータログを終了します。

トレーニングモード画面

トレーニングモードではリアルタイムチャートとトレーニングの目標数値を図24のように表示します。



図24. トレーニングモード画面

トレーニングモードクイックメニュー

コントロールスティック下押しで、図25のようにトレーニングモードクイックメニューを呼び出します。



図25. トレーニングモードクイックメニュー

トレーニングモードの選択:

1. スクロールして「トレーニングの選択」を選ぶ。
2. コントロールスティックでトレーニングモードを選択:
 - 目標時間設定によるトレーニング(時間トレーニング)
 - 目標距離設定によるトレーニング(距離トレーニング)
 - 目標カロリー設定によるトレーニング(カロリートレーニング)
3. コントロールスティック下押しで設定画面に。数値設定後「開始」でトレーニングスタート。

Xplova G3はトレーニングモードの目標値（時間、距離、カロリー）に達するとデータログを終了します。そして目標値に達したことを知らせ、サマリー画面で消費したカロリー、走行した時間、走行した距離を表示します。

トレーニングの設定:

詳細は63ページの「トレーニング設定」をご覧ください。

ページの編集

ページの編集

フィールドまたはレイアウトの変更が可能です。

ページ編集:

1. コントロールスティックを下に押し編集画面に入る。ダッシュメーター、トレーニングモードページからは編集画面に入れません。
2. スクロールして「ページの編集」を選択
3. スクロールして「レイアウトの変更」を選択。レイアウトはそのまま「フィールドの編集」を選択した場合には、4を省略して5に飛んでください。
4. コントロールスティックでお好みのレイアウトを選択する。そして「次のステップへ」を有効にして、コントロールスティック下押しで選択確定。
5. フィールド内の項目を有効にしてコントロールスティックを下押しし、候補の項目からデータタイプを選択。

新しいページの追加

新しいページに新しい情報を追加できます。

新しいページの追加方法

1. コントロールスティックを下押し。トレーニングモード、地図、ダッシュメーターからはページの追加を行えません。
2. 「ページの追加」を選択
3. コントロールスティックで好みのレイアウトを選択して、「次のステップへ」を選択
4. 各フィールドに好みのデータタイプを割り当てて「保存」

ページの削除

ページを削除することができます。

ページの削除方法:

1. コントロールスティック下押し。ダッシュメーター、地図、トレーニングモードではページ削除はできません。
2. 「ページの削除」を選択して実行。

設定変更

Xplova G3は設定をカスタマイズすることが可能で、端末をお好みの設定に変更できます。

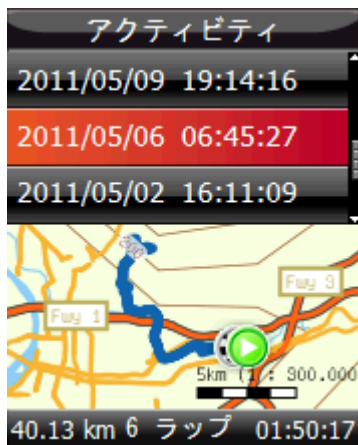
マイデータ

マイデータはアクティビティ、トラック、トレーニング履歴、データ削除をサポートしています。

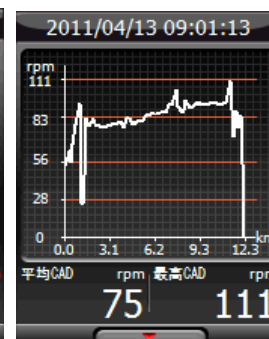
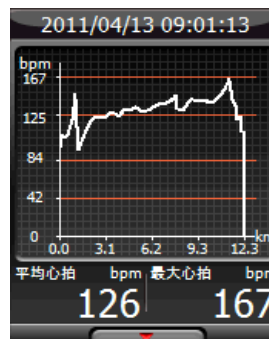
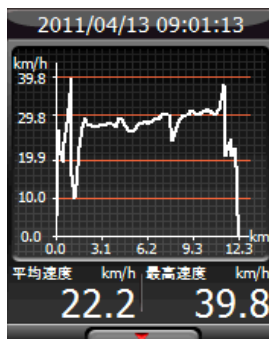
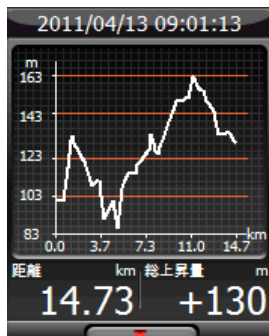
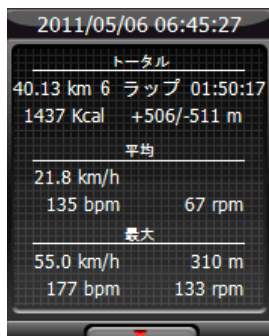


マイデータ:

1. 右側のMenuボタンを押す
2. コントロールスティックで「マイデータ」を選択して下押し
3. 表示したい項目をコントロールスティックで選択して下押し。
4. 項目内で表示したい内容を選択して、コントロールスティックを下押し



5. スクロールアップ、ダウンで閲覧したい内容を表示



6. 左側のModeボタンを押すと、項目表示メニューに戻る
7. Modeボタンを再び押すとマイデータ画面に戻る
8. Modeボタンをもう一度押すとメインメニューに戻る

データ削除:

1. 左側のMenuボタンを押す
2. 「マイデータ」を選択しコントロールスティックで下押し
3. 「データ削除」を選択して下押し
4. 削除した項目をコントロールスティックで選択して下押し
5. 時系列で削除したいデータを選択。「過去データを削除?」、「はい」を選択で削除実行
6. Modeボタンを押すとデータ削除画面に戻る
7. Modeボタンをもう一度押すとマイデータ画面に戻る
8. 再度Modeボタンを押すとメインメニューに戻る。

モード選択

モード選択でチャートとトレーニングモードとチャートモードの表示/非表示を選択できます。

チャートモード、トレーニングモードの表示/非表示:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. 「モード選択」を選びコントロールスティック下押し
3. コントロールスティックで「チャートモード」、トレーニングモード」の表示/非表示を切り替える
4. Modeのボタンを押すと設定を保存してメインメニューに戻る

サイクルコンピューター設定

サイクルコンピューター設定(サイコン設定)はアラート(警告)とラップ、ポーズ(停止)の記録方式について設定を行います。本メニューは電源投入後、GPSを受信して最初に表示されるダッシュメーター(サイクルコンピューターモード)からも簡単にアクセスすることができます。

サイクルコンピューターモードからのアクセス

1. サイクルコンピューターモード(メーター表示画面)でコントロールスティックを下押し
2. 「サイコン設定」を選択後、コントロールスティック下押し

アラート（警告）設定

Xplova G3は走行時間、距離、最高速度、最低速度、ケイデンスや心拍の最大、最小値を事前に設定することができます。設定値を超過すると音声と画面で警告します。



アラート設定:

1. Menuボタンを押す
2. コントロールスティックで「サイコン設定」を選択して下押し
3. 「アラート」を選択して下押し
4. お好みのアラート設定を行ってください。設定内容は以下の通り:
 - 時間アラート: 設定時間に達すると警告
 - 距離アラート: 設定距離に達すると警告
 - 速度: 最低/最高速度を設定。設定値を超えると警告

- 心拍: 最小/最大心拍を設定。設定値を超えると警告
- ケイデンス: 最低/最高ケイデンスを設定。設定値を超えると警告

*「カスタム」を任意の数値をコントロールスティックで入力し✓で確定します。数値を入れ確定しなければ前画面に戻れません。カスタムで入力した数値は、次回トグル候補には含まれません。

5. 本体左のModeボタンを押すと設定を保存して、サイクルコンピューター設定画面に戻る。
6. Modeボタンを再度押すとメインメニューへ

記録方式の選択（ラップと自動停止の設定）

Xplova G3には自動ポーズ（スマートポーズ）と自動ラップ（スマートラップ）の機能があります。



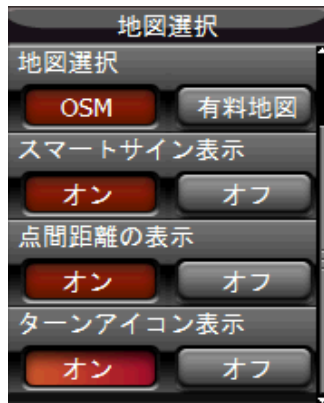
- 自動ポーズ：ログを一時的に中止する機能で、設定した速度未満になるとデータログを中止します。停止時にログしないように設定することもできます。
- 自動ラップ：事前に距離を設定することでその距離ごとにラップをきざみます。
- 距離:1,2,5,10kmの設定から選択するか、自分で任意の数値を入力します。

記録方式の設定:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. スクロールして「サイコン設定」を選択して、コントロールスティックを下押し
3. 「記録方式」を選択してコントロールスティックを下押し
4. Xplova G3が自動的に記録/停止を行うように設定:
 - 自動ポーズ: 数値を選択あるいはカスタム入力した数値を速度が下回るとデータログを自動中止。「停止時」は停止をするとデータログを自動中止。
 - 自動ラップ: 指定した距離を到達すると、新たにラップを開始する
5. 本体左側のModeボタンを押すと保存してサイコン設定メニューに戻る
6. 再度Modeボタンを押すとメインメニューに戻る

地図選択

地図選択はベースマップの選択と表示方式に関わる設定です。「地図選択」には地図モードから簡単にアクセスできます。



地図選択と表示設定:

1. 地図モードでコントロールスティックを下押し
2. スクロールして「地図選択」を選びコントロールスティックを下押し

地図の表示を変える

地図の表示を北方向または進行方向に変更したり、地図上のスマートサインの表示、スマートサインまでの距離表示/非表示を行います。

地図表示の変更

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. スクロールし「地図選択」を選び、コントロールスティックを下押し
3. 地図表示方向、スマートサイン・点間距離（Ex.現在地からルート上の次のスマートサインまでの距離）の表示/非表示を選択
4. 本体左側のModeボタンを押し、設定保存の上メインメニューへ

トレーニング設定

トレーニングを設定すると自動的にトレーニングセッションを保存し、トレーニング履歴に加えます。

トレーニング設定へのクイックアクセス:

1. トレーニングモードでコントロールスティックを下押し
2. 「トレーニング設定」を選択してコントロールスティックを下押し。設定メニューが表示されます

トレーニング履歴を自動保存:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. スクロールして「トレーニング設定」を選択。コントロールスティックを下押し
3. 「自動保存」を選択すると赤く表示が変わる
4. 本体左側のModeボタンを押し、設定保存の上メインメニューに戻る

ユーザーとバイク情報

Xplova G3には2つのプロフィール設定(情報設定)があります: ユーザープロフィールとバイクプロフィール。本設定はパフォーマンス分析を正確に行うためには大変重要です。

ユーザープロフィール

ユーザープロフィールではユーザー自身の情報の入力、編集と心拍計の設定をします。心拍計を使用しないユーザーは心拍計の設定は不要です。



図26 ユーザープロフィール

ユーザープロフィールの編集:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. スクロールして「ユーザーとバイク」を選択、コントロールスティックを下押し
3. ユーザーを選択、コントロールスティックを下押し
4. 「ユーザー名前」を選択

- 名前をキーボードでアルファベット入力。文字を一文字削除は←、入力し終わったら✓で確定
- 性別を選択
- 「生年月日」を選択して、「年」、「月」、「日」の順で入力し、最後に✓で確定
- 「体重」を選択し数値をキーパッドからコントロールスティックを使用して入力。最後に✓で確定
- 「身長」を選択し数値をキーパッドからコントロールスティックを使用して入力。最後に✓で確定
 - * アルファベット、数値入力画面では本体左側のModeキーで前ページに戻ることはできません。入力後✓で確定すると前ページに戻ります。
- 「ANT+心拍計」で「設定」を選択。心拍計については**86**ページを参照してください。
- 本体左側のModeボタンを押すと、設定を保存して前ページに戻る
- 再度Modeボタンを押すと「ユーザーとバイク」ページに戻る

心拍ゾーンの設定

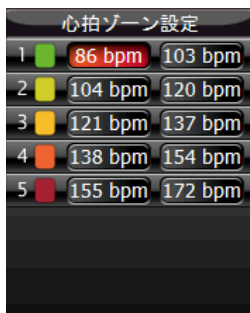
心拍ゾーンを事前に設定しておくことで、現在の心拍が心拍ゾーンのどのあたりにあるかを確認することができ、より効率的なトレーニングを行うことができます。Xplova G3はユーザープロフィールで年齢を入力した段階で、標準の心拍ゾーンを設定します。マニュアルで数値の変更も可能です。標準設定では最大心拍を「220-年齢」で設定しています。

標準心拍設定値:

- zone 5: $\geq 90\%$,

- Zone 4: 80%~89%,
- Zone3: 70% ~79%,
- Zone2: 60%~69%,
- Zone 1: 50%~59%

ダッシュメーター上で心拍表示はこの心拍ゾーンを基準に表示します。



バイクプロフィール（バイク情報）

バイクプロフィールメニューでは、3台までのバイクについて設定することができます。
またそれぞれのバイクについてケイデンスの設定を行います。



図27. バイクプロフィール

バイクプロフィールの編集:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. スクロールして「ユーザーとバイク」を選択し、コントロールスティックを下押し
3. 「バイク1」、「バイク2」、「バイク3」から選択して、コントロールスティック下押し
4. 「名称」を選択しユーザープロフィール同様に入力して✓でOK
5. 「ステータス」で現在そのバイクを使用中かどうかを選択

6. 「総走行距離」を選択して、数値を変更したい場合は入力して承認
7. 「重量」を入力
8. 「ホイールサイズ」を入力。以下のサイズ表を参照してください
9. 「ANT+コンボセンサー」を選択しコンボケイデンス（速度/ケイデンス）センサーを設定。詳しくは89 ページを参照願います
10. 本体左側のModeボタンを押すと設定を保存して、前ページに戻る
11. 更にModeボタンを押すと「ユーザーとバイク」ページに戻る

タイヤサイズ	周長(mm)	タイヤサイズ	周長(mm)	タイヤサイズ	周長(mm)
12 x 1.75	935	26 x 7/8	1920	27 x 1-1/4	2161
14 x 1.5	1020	26 x 1(59)	1913	27 x 1-3/8	2169
14 x 1.75	1055	26 x 1(65)	1952	650 x 35A	2090
16 x 1.5	1185	26 x 1.25	1953	650 x 38A	2125
16 x 1.75	1195	26 x 1-1/8	1970	650 x 38B	2105
18 x 1.5	1340	26 x 1-3/8	2068	700 x 18C	2070
18 x 1.75	1350	26 x 1-1/2	2100	700 x 19C	2080
20 x 1.75	1515	26 x 1.40	2005	700 x 20C	2086
20 x 1-3/8	1615	26 x 1.50	2010	700 x 23C	2096
22 x 1-3/8	1770	26 x 1.75	2023	700 x 25C	2105

タイヤサイズ	周長(mm)	タイヤサイズ	周長(mm)	タイヤサイズ	周長(mm)
22 x 1-1/2	1785	26 x 1.95	2050	700 x 28C	2136
24 x 1	1753	26 x 2.00	2055	700 x 30C	2170
24 x 3/4 Tubular	1785	26 x 2.10	2068	700 x 32C	2155
24 x 1-1/8	1795	26 x 2.125	2070	700C Tubular	2130
24 x 1-1/4	1905	26 x 2.35	2083	700 x 35C	2168
24 x 1.75	1890	26 x 3.00	2170	700 x 38C	2180
24 x 2.00	1925	27 x 1	2145	700 x 40C	2200
24 x 2.125	1965	27 x 1-1/8	2155		

一般設定

一般設定には表2の項目が含まれます

表2:一般設定に含まれる項目

Menu Item	Description
衛星情報	衛星情報を確認するには71ページを参照
ディスプレイ	バックライト、タイマーと輝度変更については75ページを参照
サウンド	音声オン/オフ、キー音、アラートオンについては75ページ参照
時刻	タイムゾーン、サマータイム、時刻表示形式については76ページを参照
単位	距離、高度、温度測定の単位は78ページを参照
言語	言語選択については79ページ参照
高度校正	高度校正については80ページを参照
電子コンパス校正	電子コンパス校正については81ページを参照
工場出荷時に戻す	工場出荷の初期状態に戻す場合は84ページを参照
端末情報	端末情報については85ページを参照

衛星情報

室内での使用もしくは意図的にGPSを受信しない場合は、受信しないよう設定することができます。またGPSの初期化を行うことにより、過去のGPS情報をメモリーから削除してコールドスタートを行うこともできます。G3を起動してGPS信号を受信する場合には、できるだけ天空の開けた場所でおこなってください。それでも受信状態が改善しない場合には、GPSの初期化を行うことをおすすめします。

注意事項：Xplova G3は5分経過しても十分な信号の受信を行えない場合、さらにGPS信号サーチを続けるように案内を表示します。バックグラウンドでGPSサーチを続けるか、サーチを止めて受信機を電源オフにしてください。バックグラウンドでサーチを続ける場合、画面にはサーチ情報を表示しません。

GPSのオン/オフと初期化:



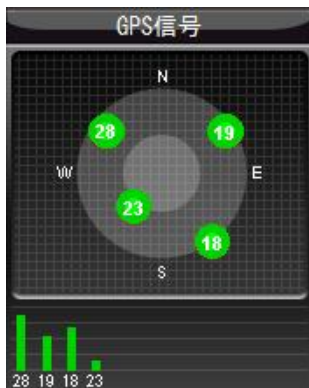
1. 本体右横のMenuボタンを押す

2. スクロールして「一般設定」を選択、コントロールスティック下押し。
3. 「GPS」を選択
4. 「GPSステータス」へ
5. コントロールスティックでGPSの「オン」または「オフ」を選択
6. 本体左の「Mode」ボタン設定を保存して一般設定に戻る

GPS受信機の初期化:

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「GPS」を選択
4. 「リセットGPS」の「リセット」を選択しコントロールボタンを下押しすると、「GPSがリセットされました」と表示
5. 本体左側のModeボタンを押し、設定を保存して「一般設定」ページに戻る

GPS情報の表示:



1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「GPS」を選択
4. スクロールして「GPS信号」を選択すると、天空図とGPSの位置、番号などが表示される
 - GPSクオリティ:位置情報決定に使用しているGPSを緑色で表示
 - 個数: GPSの天空での位置と個数を表示、位置情報算出には最低4個以上のGPSが必要
5. 本体左側のModeボタンで前ページに戻る
6. 更にModeボタンを押すと一般設定に戻る

ディスプレイ

バックライトタイマー設定により電池の消費をできるだけ防ぐことができます。設定により一定時間経過するとバックライトがオフになります。また本メニューでは輝度の調整を行えます。



バックライト時間の設定:

1. 本体右側のMenuボタンを選んで、コントロールスティックを下押し
2. 「一般設定」を選択
3. 「表示設定」を選択
4. 「バックライト時間」を選択
5. コントロールスティックを右左に動かすことによって、バックライトオフまでの時間を15秒、30秒、1分、5分から選択。常時オンにすることも可能。
6. 本体左側のModeボタンを押して、設定を保存して前ページに戻る

輝度の調整:

1. Menuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「表示設定」を選択
4. 「輝度」を選択
5. 10段階の輝度でコントロールスティックを右左に動かすことで調整
6. Modeボタンで設定を保存して前ページへ

サウンド（音声）

サウンド（音声）の設定を行います

**サウンド（音声）設定:**

1. Menuボタンを押す

2. 「一般設定」を選択
3. 「サウンド設定」を選択
4. キープレスと通知音（アラート）のオン/オフを選択
5. Modeボタンを選択して設定を保存し前ページへ

時間設定：

Xplova G3はGPSから送られてくる時刻情報を使用しており、通常はUTC(協定世界時)が基本となっています。ユーザーは使用する地域により時差調整を行う必要があります。



タイムゾーンの設定:

1. Menuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「時間設定」を選択
4. 「タイムゾーン」を選択

5. コントロールスティックを右左に動かし、その地域のタイムゾーンを選択。日本は「GMT+09:00」
6. Modeボタンを押し、設定を保存して前ページへ

時間表示形式の選択:

1. Menuボタンを押し
2. 「一般設定」を選択
3. 「時間設定」を選択
4. 「時間表示形式」を選択
5. コントロールスティックで「午前/午後」形式か「24時間形式」を選択
6. Modeボタンで設定を保存して前ページへ

サマータイムの設定:

1. 本体右側のMenuボタンを押し
2. 「一般設定」を選択
3. 「時間設定」を選択
4. 「サマータイム」を選択
5. コントロールスティックでオンまたはオフを選択
6. Modeボタンで設定を保存して前ページに戻る

単位設定：

距離や高度、温度の測定単位と座標の区切りを設定します。



測定単位の設定:

1. Menuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「単位設定」を選択
4. コントロールスティックで「距離と高度」の単位を選択
5. 「温度」で摂氏か華氏を選択
6. Modeボタンで設定を保存して前ページに戻る

言語

Xplova G3は日本語に対応しています。



言語設定

1. Menuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択
3. 「言語」を選択
4. コントロールスティックで「日本語」を選択
5. Modeボタンを押し、設定を保存して前ページへ

高度校正

Xplova G3は高精度高度気圧計を内蔵しています。高度気圧計は大変デリケートで気圧や天候により影響を受けます。Xplovaは既知点などで高度校正を定期的に行うことを推奨いたします。GPSで高度を算出することもできますが、通常GPSで測定した高度は水平方向より5倍程度誤差が大きいと言われていています。もっとも信頼のおける方法は水準点や三角点など既知の高度点の高度をその場で手入力することです。

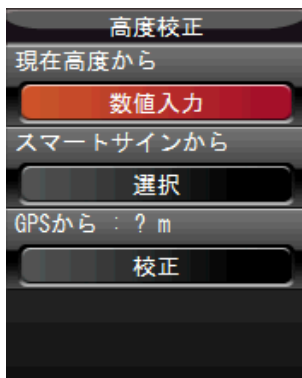


図28. 高度校正

高度校正：

1. 三角点や水準点など既知点にXplova G3を置く
2. 本体右側のMenuボタンを押す
3. 「一般設定」を選択し、コントロールスティックを下押し
4. 「高度校正」を選択してコントロールスティックを選択
5. 高度校正の方法は3種類

- 現在高度から・・・既知点で既知の高度数値を手入力。水準点など正確に測量された点が望ましい
 - スマートサインから・・・スマートサインからも高度情報を入手できるが、水準点、三角点がより正確
 - GPSから・・・GPSで高度を校正。精度は若干劣るが天空さえ開けていればどこでも可能
- * 既知点で高度校正をマメに行うことにより、気圧高度計の精度が上がります。その場合、既知点の標石などの上で確実に校正を行ってください。周囲に既知点が無い場合は出発前などに、天空の開けた場所においてGPSで高度校正を行ってください。

6. Modeボタンを押して前ページに戻る

コンパス校正

コンパスは地図上での方角、進行方向決定のために内蔵されています。アナログコンパスのように画面で磁北と進行方向を表示することもできます。

コンパス校正方法：

1. 本体右側のMenuボタンを押す
2. 「一般設定」を選ぶ
3. 「コンパス校正」を選びコントロールスティックを下押しすると、コンパス校正インストラクション画面が表示される。コントロールスティックで次ページに進む
4. 「校正開始」を選択
5. 下図の8の字のように本体を動かす。「コンパス校正中」の表示の後に、成功した場合は「コンパス校正成功」と表示され、失敗すると再度校正を促すメッセージが表示。成功後「OK」を押すとメインメニューに戻る。

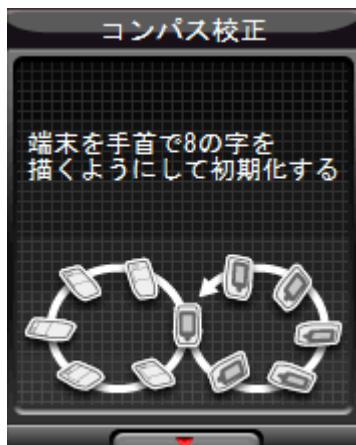


図20. コンパス校正

6. Modeボタンで前ページに戻ることも可能

*コンパス校正は周りの環境に大きく影響を受けます。コンパス校正に失敗した場合は別の場所で再度校正を行ってください。

コンパス表示 :

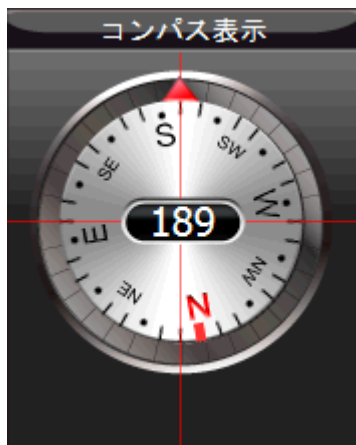
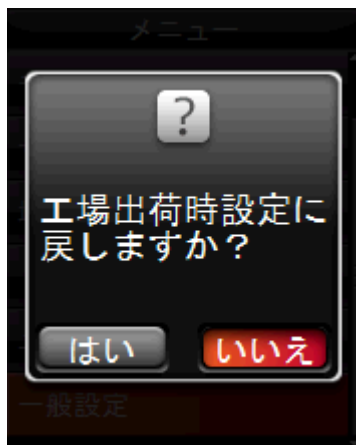


図30. コンパス表示

1. Menuボタンを押す
2. スクロールして「一般設定」を選択
3. 「コンパス校正」を選択.
4. 「コンパス表示」を選択
5. Modeボタンを押すと前ページに
6. Modeボタンを続けて押すと「一般設定」に戻る

工場出荷時設定

工場出荷時の設定に戻します。



工場出荷時設定に戻す:

1. Menuボタンを押す
2. 「一般設定」を選択.
3. 「工場出荷時に戻す」を選択
4. 「はい」を選ぶと自動的に工場出荷時の設定に戻る

端末情報

端末情報には以下の情報を含みます：

- シリアル番号: 端末のシリアル番号
- OSバージョン: OSのバージョン番号
- SWバージョン: ソフトウェアのバージョン番号
- コピーライト情報

Xplovaあるいは販売店からサポートを受ける際には、上記番号が必要となります。



図31. 端末情報

アクセサリーの使用

心拍計 (オプション)

オプションの心拍計はワイヤレス対応で左胸に取付けます。本章では心拍計をどのように取付け、ペアリングするか説明します。

心拍計のペアリング (同期)

心拍計とXplova G3を同期することで、心拍データをログしGPSサイクルコンピュータ上にワイヤレスで心拍データを表示します。

心拍計のペアリング:

1. Menuボタンを押す
2. 「ユーザーとバイク」を選択してコントロールスティックを下押し
3. 「ユーザー」を選択してコントロールスティックを下押し
4. 「ANT+心拍計」を選択して「設定」でコントロールスティック下押し



図32. ANT + 心拍計

5. 「再スキャン」を選択してコントロールスティックを下押し
6. G3端末のそばで図33のように心拍計の両端をこする。Xplova G3は端末とペアリングできたことを通知
7. 心拍計IDが自動的に表示される



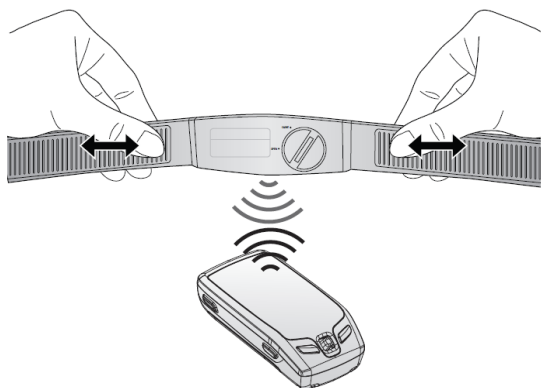


図33. 心拍計と端末のペアリング

心拍計の装着：

心拍計はセンサー部分ができるだけ心臓に近い位置にあるように装着してください。

装着方法：

1. 接続バンドをバックル部分で外す
2. 胸部に巻いて、またバックル部分を接合する
3. 心拍計が運動時に下がってこないようにゴムバンドを調整する

心拍計電池の交換：

心拍計は 3ボルト CR2032 をセンサー内部に使用しています。

電池交換方法:

1. コインを使用してセンサー裏部分のフタを反時計まわりにまわして電池フタを開ける
2. 電池を新しいものと交換する
3. フタを時計まわりに回ししめる

コンボケイデンスセンサー(オプション)

ワイヤレスコンボセンサーは速度センサーとケイデンスセンサー合体型で、自転車のステイ部分に取付けます。コンボセンサーはトレーニングの成果をより眼に見える形にします。

コンボケイデンスセンサーのペアリング (同期)

Xplova G3は3台までのコンボケイデンスセンサーをサポートします

コンボケイデンスセンサーのペアリング方法:

1. Menuボタンを押す
2. 「ユーザーとバイク」を選択
3. 設定したいバイクを選択し、コントロールスティックを下押し
4. 「ANT+コンボケイデンス」の「設定」を選択してコントロールスティックを下押し



図34. ANT+コンボケイデンス

5. 「再スキャン」を選択してコントロールスティックを下押し
6. オプション付属のマグネットをコンボケイデンスセンサーと5mm位の間隔で、図35のようにG3端末のそばで上下反対方向に動かす。センサーを認識するとXplova G3はその旨スクリーンに表示
7. センサーIDが表示される



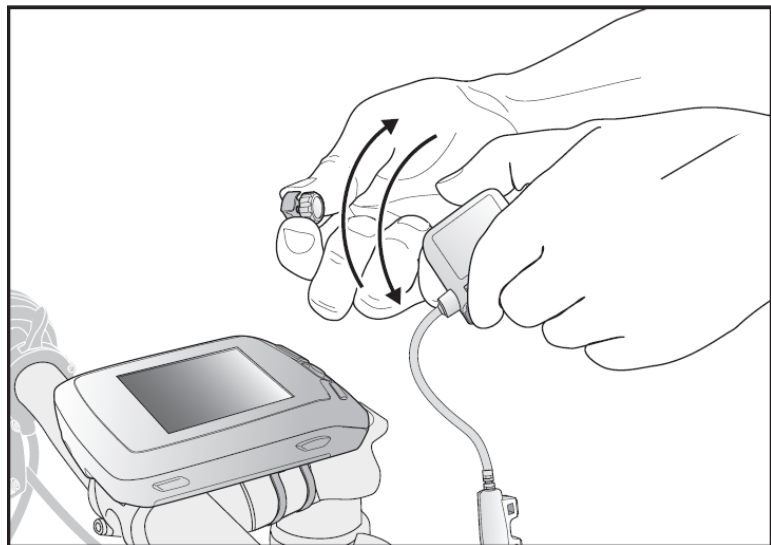


図35. コンボキーデンスセンサーのペアリング

コンボケイデンスセンサーの取付け

ペアリングに成功したら、バイクへの取付けの前に以下のアクセサリ類が間違いなくそろっているか確認してください:



ケイデンスセンサー

速度センサー



速度マグネット



ケイデンスマグネット



ラバーベース

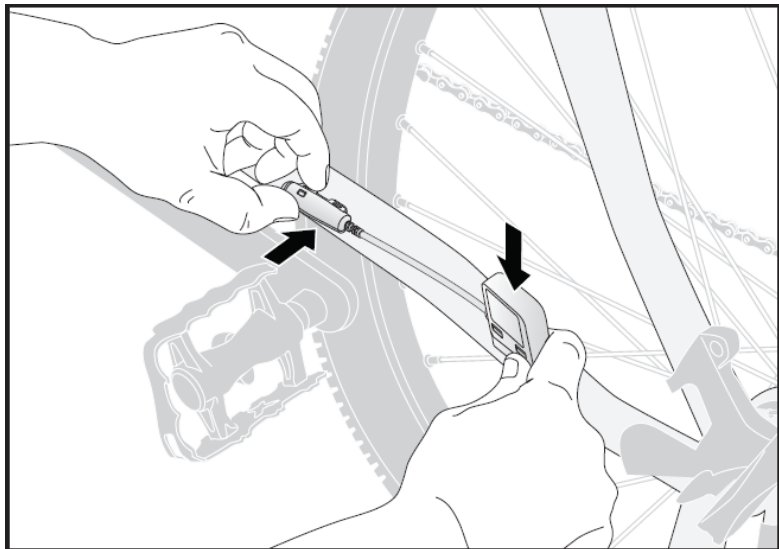


ロックタイ

図36. コンボケイデンスセンサーパーツ

コンボケイデンスセンサー取付方法:

1. 図37のようにチェーンステイ部分にセンサーを取り付ける

**図37. コンボケイデンスセンサー取付位置**

2. 図38のようにセンサーを同梱のロックタイで仮留め。強く留めてしまわないこと。

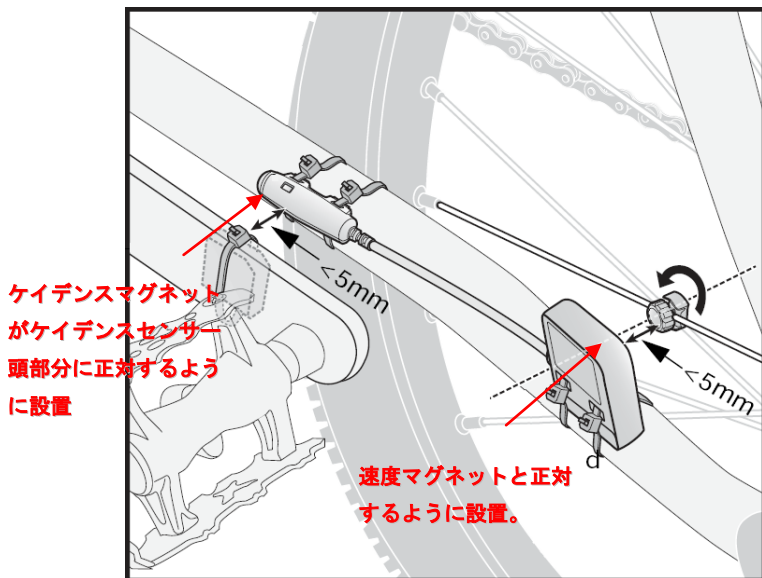


図38. センサーとマグネットの設置

3. 図38のように速度マグネットをスポークに取付ける。まだ固く締め付けないこと。
4. 図39のようにケイデンスマグネットを左クランクに取付ける。クランク裏側の形状に注意しながら、センサーとの間隔が5mmになるような場所に取付ける。

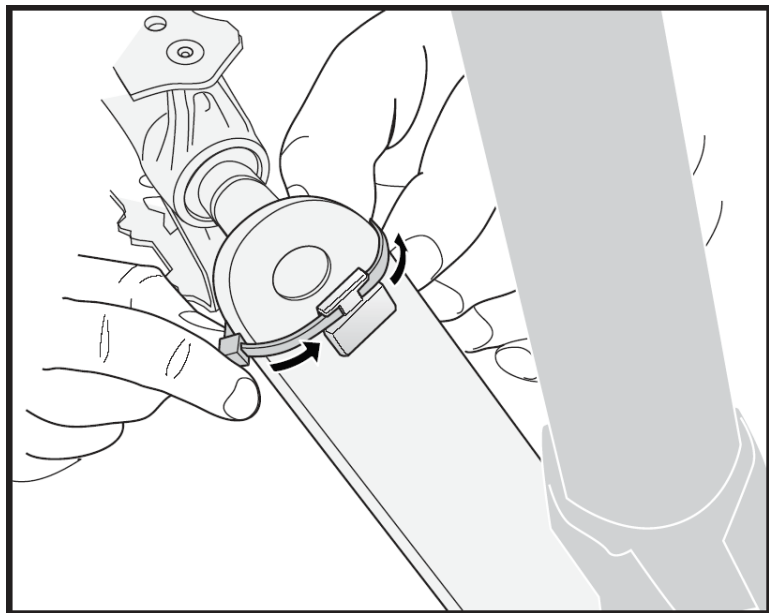


図39. ケイデンスマグネットの左クランクへの取付け

5. それぞれのマグネットは各センサーと5mm以内の間隔を維持できるように取付ける
6. 位置が確定したらロックタイを締め、センサーとマグネットを固定する。スポークのマグネットも落下しないように締め付ける。

コンボケイデンスセンサーでのトレーニング

コンボケイデンスセンサーを取付けペアリングに成功すると、G3Iには速度やケイデンスの情報がサイクルコンピューターモードに表示されます。項目が表示されない場合には40ページを参照して表示内容を変更してください。

コンボケイデンス電池の交換

3ボルト CR2032電池を採用しています

コンボケイデンス電池の交換方法:

1. センサー裏のフタを、コインを使用して反時計回りに回して開ける
2. 古い電池を新しい電池と交換する
3. 電池カバーを戻し、時計回りに回して締める

オプションバッテリーチャージャー

Xplova G3の LEDが赤に変わったら充電が必要です。

充電方法:

1. ACアダプターにバッテリーチャージャーを接続する
2. 図40のようにバッテリーチャージャーにバッテリーを挿入する

注意: オプションバッテリーチャージャーは使用国により異なります。図は参考図です。

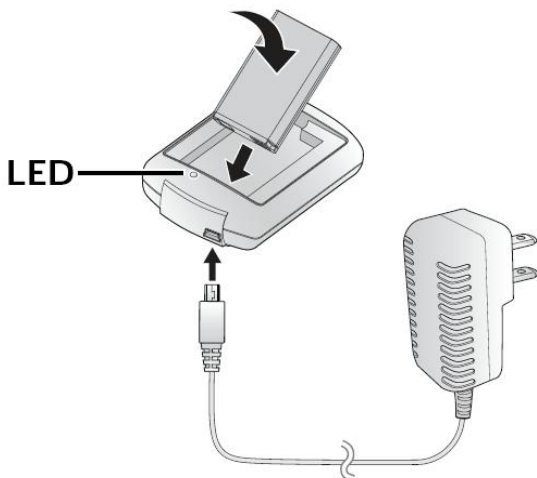


図40. バッテリーチャージャーの接続

3. LEDが緑色に点灯したらバッテリーを外す

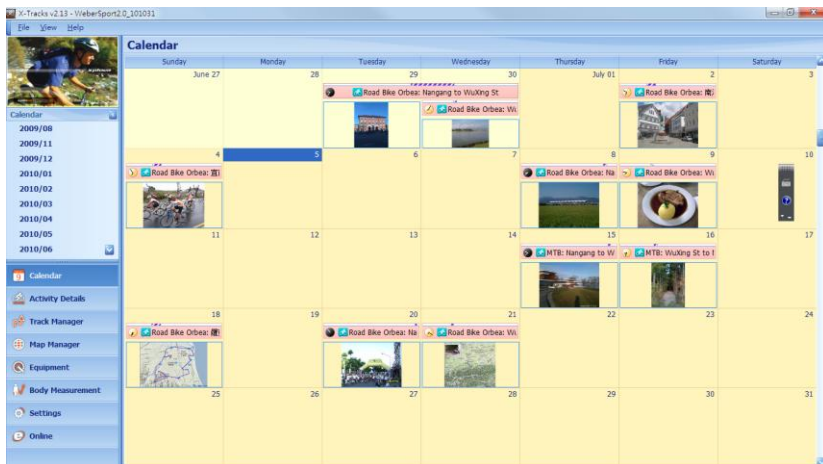
PCソフトウェアの使用

X-Tracks™

バックアップ/アクティビティデータの閲覧

X-TracksはXplova G3でログした速度、高度、心拍やケイデンスなどのデータを分析し、チャート(グラフ)や数値として表示するPC用ソフトウェアです。X-Tracksでデータを分析することにより、より高いパフォーマンスでトレーニングを行うことが可能です。X-TracksはXplova G3でログしたすべてのデータをバックアップし、ユーザーはそれをいつでも閲覧することができます。



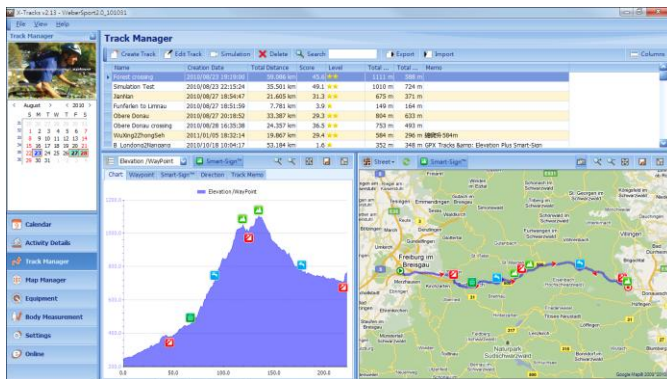


GPX & TRKファイルのインポート/エクスポート

他のGPS端末からGPXファイルや他ユーザーのTRKファイルをX-Tracksにインポートしたり、Xplova G3にアップロードすることが可能です。ルートやトラックの共有に最適

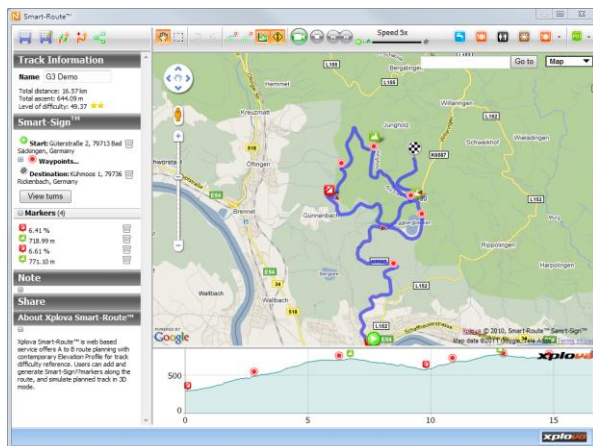
GPXは汎用GPSエクスチェンジフォーマット

TRKはXplovaの独自フォーマット



Smart-Route™(スマートルート)ルート計画

Smart-Route™Webサービスでは走行ルートを作成して、PC用ソフトウェア上でTRKフォーマットファイルとして保存、表示することができます。



地図のダウンロード

世界中の地図をXplovaマップサーバーからダウンロードして、Xplova G3端末で利用できます。

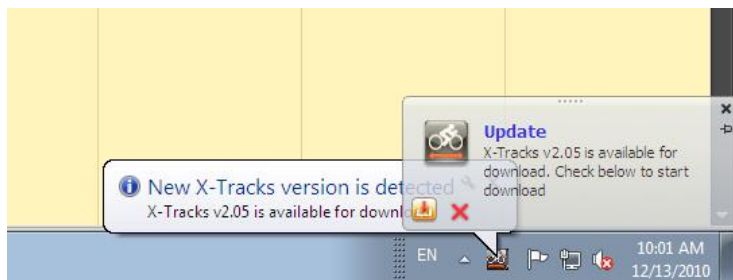
Map	Size	Version	Status	Action
Belgium	16295 KB	2010/12/22 20:32:54	Available	Download Now
Belgium.Contour	11093 KB	2010/10/11 07:18:50	Available	Download Now
France				
Germany				
BadenWuerttemberg (Germany)	38179 KB	2010/12/23 00:44:23	Available	Download Now
BadenWuerttemberg.Contour (Germany)	42540 KB	2010/10/11 09:06:11	Available	Download Now
Bayern (Germany)	56545 KB	2010/12/23 02:11:37	Installed at: 3/3/2011 11:42:07 AM	
Bayern.Contour (Germany)	62879 KB	2010/10/11 09:06:24	Installed at: 3/3/2011 11:38:47 AM	
Berlin (Germany)	5202 KB	2010/12/23 05:55:17	Installed at: 3/3/2011 11:37:43 AM	
Berlin.Contour (Germany)	875 KB	2010/10/11 09:06:25	Installed at: 3/3/2011 11:37:44 AM	
Brandenburg (Germany)	14193 KB	2010/12/22 21:48:38	Available	Download Now
Brandenburg.Contour (Germany)	8392 KB	2010/10/11 09:06:26	Available	Download Now
Bremen (Germany)	1253 KB	2010/12/23 08:46:30	Available	Download Now
Bremen.Contour (Germany)	133 KB	2010/10/11 09:06:26	Available	Download Now
Hamburg (Germany)	5948 KB	2010/12/23 04:18:23	Available	Download Now
Hamburg.Contour (Germany)	1086 KB	2010/10/11 09:06:26	Available	Download Now

G3ソフトウェアのアップデート

G3ソフトウェアのアップデート方法：

注意：アップデート前にG3が満充電されていることを確認してください。アップデート中に電源をオフには絶対しないでください。

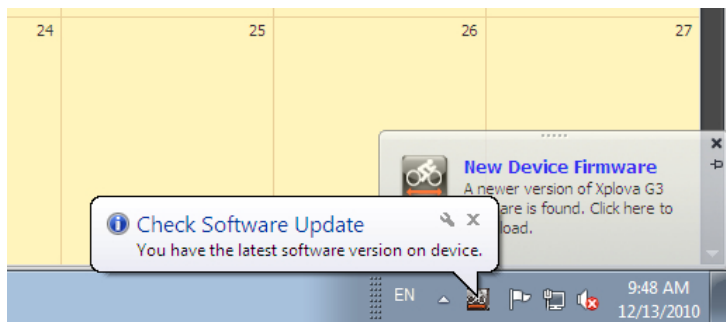
Xplova G3をアップデートをする前にX-tracksをV2.05以降のバージョンにアップデートしてください。Xplova G3製品に同梱されているCDからPC用ソフトウェアX-Tracksをインストールしてください。X-Tracksは自動的に更新ファイル更新があるかどうか探しに行きます。更新ファイルが見つかったら下図のようにボタンをクリックしてダウンロードを開始し、アップロードを行ってください。



Xplova G3の電源をオンにしPCにUSBケーブルで端末を接続してください。端末はUSB接続画面を表示します。



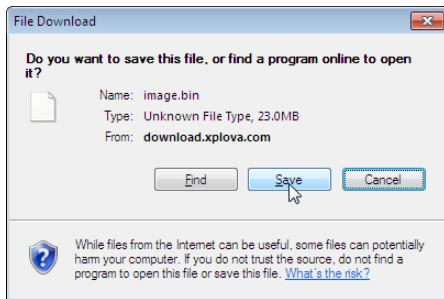
2. X-Tracksを起動すると自動的に更新ソフトウェアがあるかどうかチェックします。



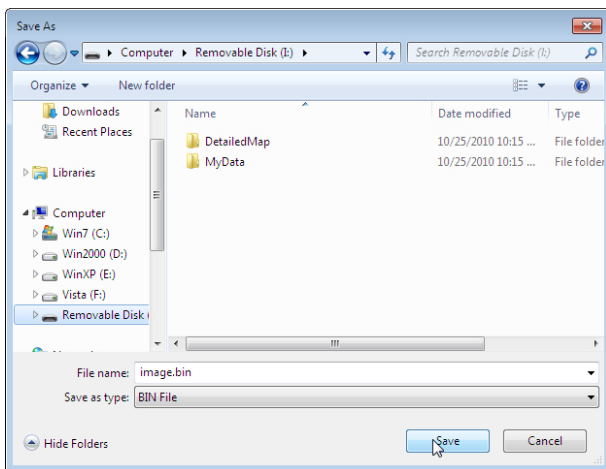
3. ダウンロードボタンをクリックして、ポップアップメッセージウィンドウのダウンロードボタンをクリックしてファイルをPCに保存してください



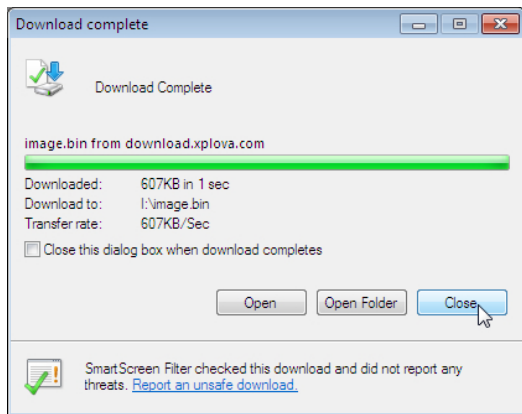
4. 「保存 (SAVE)」を選択してください。



5. ファイルはG3内部メモリーに保存します。G3内部メモリーはエクスプローラー上「リムーバブルディスク (Removable Disk)」として表示されます。



6. ダウンロードが終了したらウィンドウを閉じてください。



7. Xplova G3とPCを接続するUSBケーブルを外して、端末の電源がオフになるのをまって下さい。
8. 電源ボタンをロードスクリーンが表示されるまで押してください。



9. インストールが終了するまでスクリーンを確認してください。

10. OSアップデートとアプリケーションアップデートは異なります。下図で確認してください。

OSアップデート



アプリケーションアップデート



11. アプリケーションアップデートが終了すると、自動的に電源オンとなります。

注意：ソフトウェアアップデートの際にはG3が満充電であることを確認してください。
アップデート中に電源オフには絶対しないでください。

付録

仕様

テーブル3. 仕様

モデル名	
モデル名	Xplova G3 GPSサイクルコンピューター
サイクルコンピューター機能	
ユーザー定義可能なマルチインフォメーション表示機能	ユーザー定義可能な項目：時刻、速度、距離、高度、勾配、心拍、ケイデンス、カロリー、ラップなど
マルチインフォメーションページ	ダッシュメーター、サイクルコンピューター、ページ1、ページ2、ページ3
ユーザープロフィールサポート	名前、年齢、性別、体重、身長、ANT+HRM
マルチバイクプロフィールサポート	バイク名称、オドメーター、アクセサリ
データ記録	スタート/停止/継続/保存、ラップ、記録クリア
アラート（警告）	速度、時間、距離、心拍、消費カロリーアラート

トレーニング	時間、距離、消費カロリーによるトレーニング
GPSナビゲーション機能	
ナビゲーション	計画したコースに進行方向・距離を表示（ターンバイターン）。スマートサイン（坂道などのアイコンと属性）接近アラート
地図	1:75K等高線世界地図 OSM（オープンストリートマップ）、世界各地の地図をユーザーがダウンロード使用可能
高度チャート	ルートにおける高度チャート表示、現在高度地の表示
Smart-Sign™ （スマートサイン）	ウェイポイント、山頂、勾配情報、橋などユーザーが印象的なマークと属性をコース上に配置、表示
ハードウェア	
ボタン	Power/OSDボタン、+ ボタン、- ボタン、Menuボタン、Lap/Resetボタン、5-Wayコントロールスティック、Record/Endボタン、Mode/Bike選択ボタン
GPS	高感度 -159 dbm
高度気圧計	高精度高度気圧計
オーディオ	ブザー音
バッテリー	交換可能リチウムイオンバッテリー*約10時間作動

LED	スタンバイ、残りバッテリー低下表示LED
充電	Mini USB充電
PC接続	USB 2.0, Mini USB
サイズ・使用環境	
サイズ	99 (L) x 57 (W) x 25 mm (H)
重量	117 g
動作温度	Operation -10° ~50° C
適用環境	IPX7防水
X-Tracks™ PC用ソフトウェア	
O. S.	Windows XP以降
アクティビティ詳細	バックアップ、分析結果表示、レポートGPX出力、地図表示、写真の挿入
トラックマネージャー	Smart-Route™, Smart-Share™ の提供、ルート・トラック管理、3Dモードでのルートシミュレーション
マップマネージャー	オープンストリートマップ (OSM) をXplovaサーバーからダウンロード、端末へのアップロード
装備品管理	アクセサリ管理及び耐用年数の設定

機能紹介

Smart-Route™ スマートサイン	ルート作成、スマートサインの作成・属性情報付加、ターンバイターンマークの表示、POIの登録
Smart-Share™ スマートシェア	作成したルートのFacebookでのシェア、GPXまたはTRKフォーマットでの出力

アクセサリ

バイクマウント	ステム用とハンドルバー用
ラバーパッド	ずれ落ち防止ラバーパッド
心拍計（オプション）	ANT+対応心拍計
コンポケイデンスセンサー（オプション）	ANT+対応速度/ケイデンス一体型センサー
AC アダプターチャージャー	Mini USBチャージャー、バッテリーチャージャー（オプション）
USB cable	標準 mini-USB cable

Note: 作動時間10時間となっておりますが、衛星の個数、バックライトの使用状況によって変動します。

ホイールサイズテーブル

テーブル4. ホイールサイズ

ETRTO規格	ホイールサイズ	周長 (mm)
	12 x 1.75	935
	14 x 1.50	1020
	14 x 1.75	1055
	16 x 1.50	1185
47-305	16 x 1.75	1195
	18 x 1.50	1340
	18 x 1.75	1350
47-406	20 x 1.75	1515
	20 x 1-3/8	1615
	22 x 1-3/8	1770
	22 x 1-1/2	1785
	24 x 1	1753
	24 x 3/4 Tubular	1785

	24 x 1-1/8	1795
	24 x 1-1/4	1905
47-507	24 x 1.75	1890
	24 x 2.00	1925
	24 x 2.125	1965
	26 x 7/8	1920
23-571	26 x 1 (59)	1913
	26 x 1 (65)	1952
	26 x 1.25	1953
	26 x 1-1/8	1970
37-590	26 x 1-3/8	2068
	26 x 1-1/2	2100
	26 x 1.40	2005
40-559	26 x 1.50	2010
47-559	26 x 1.75	2023
50-559	26 x 1.95	2050
54-559	26 x 2.00	2055

	26 x 2. 10	2068
57-559	26 x 2. 125	2070
	26 x 2. 35	2083
57-559	26 x 3. 00	2170
	27 x 1	2145
	27 x 1-1/8	2155
32-630	27 x 1-1/4	2161
	27 x 1-3/8	2169
	650 x 35A	2090
	650 x 38A	2125
18-622	650 x 38B	2105
	700 x 18C	2070
	700 x 19C	2080
20-622	700 x 20C	2086
23-622	700 x 23C	2096
25-622	700 x 25C	2105
28-622	700 x 28C	2136

	700 x 30C	2170
32-622	700 x 32C	2155
	700C Tubular	2130
37-622	700 x 35C	2168
	700 x 38C	2180
40-522	700 x 40C	2200

実際のホイールサイズはタイヤブランド、空気圧、タイヤの摩耗などによって多少異なります。

適合関係

Duales System Deutschland GmbH Participant (デュアルシステム・ドイツ)



CE Declaration of Conformity (CENELEC Europe 欧州適合表示)



WEEE directive

Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment by users in private households in the European Union. 欧州における廃電気電子機器指令



製品の本表示は、家庭ごみとして処理することのできない製品であることを意味します。使用後の本製品は、電気製品のリサイクルのために、正規引き取り業者に引渡ししなければなりません。リサイクルに関する詳細は都道府県、市町村、購入した販売店またはリサイクル業者にお問合せください。資源リサイクルは天然資源を保護し人類の健康・環境保全に貢献します。

<http://tour.xplova.com>

<http://www.xplova.com>

本クイックガイドは、全てのコンテンツも含め著作権で保護されています。著作者の承認を得ずに本書の複製をすることはできません。© Xplova Copyright 2011.